

腹が冷える感じがして、胃に不快感があります。眠ることができません。

■その他

・アセトン血症

RELATIONS

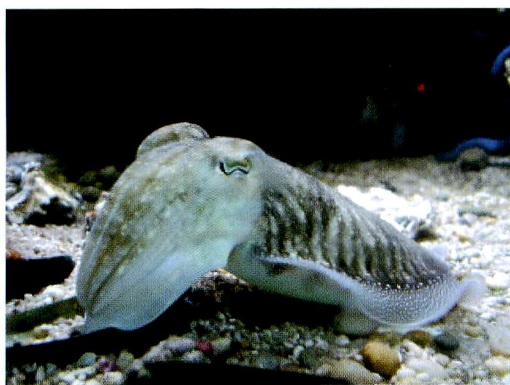
・ Antidotes : Nux vomica, Chamomilla

Sepia ヨーロッパコウイカ [女性ホルモンの不均衡と骨盤循環うっ血による活力低下]

Sepia officinalis L.

BACKGROUND

Sepia officinalis は、東大西洋から地中海に生息する、軟体動物門・頭足綱コウイカ目コウイカ科に属するヨーロッパコウイカです。石灰質の甲羅をもつためにコウイカと呼ばれています。大きさは、外套長でおよそ45cm、体重4kgくらいに生長します。外套背面には虎斑紋があり、鰭は比較的広く、前端は外套膜前側縁を超えます。全体的な形は、女性の子宮に似ています。触触も子宮に似ています。



(C)

沿岸性で、水深100mくらいまでの海底近くに生息しています。産卵期は地中海で2～9月、アフリカ北西岸では周年（盛期は4～5月および8～9月）で、水深1～30mの海底にぶどうの実状の卵を産みます。1回に200個ほどの卵を産み終えたイカは、すぐに無気力になり、体が弱っていきます。子育てはしません。

このイカは敵に襲われたときに、3つの行動のいずれかを行います。まず、1つは砂の中にもぐって身を隠します。2つ目は、水を放出してその場の状況から逃げます。3つ目は、焦げ茶がかった黒いドロリとしたコロイド状のイカ墨を噴出し、身を守ります。放出されたイカ墨は海水に拡散せず、黒い塊として漂いま

す。これは敵の目をそらすための、ダミーの役割を果たしていると言われています。この墨の成分には、敵の意思を脱力させて、活動能力を低下させる成分が含まれていると言われています。黒い色の主色素はセピアメラニンで、イカ墨は、絵の具や印刷インクとしても用いられ、西洋ではレオナルド・ダビンチやレンブラントが愛用したことから、「レンブラントインク」とも呼ばれています。

イカ墨は天然の液晶物質としても知られます。液晶物質とはある方向には規則的で、別な方向には不規則な分子配列をもつ物質のことです。イカ墨のように、液晶分子がらせん状に配列したものはコレステリック液晶といい、温度によって色が変わる温度計などに利用されています。

イカ墨の効能については、古代ギリシア時代から腎結石や淋病に効く薬として使用されてきました。ローマでは脱毛の治療にも使われていました。8世紀頃に中国で編纂された『本草拾遺』には、血液に良く、心臓の動悸や痛み、女性の子宮出血、無月経や月経異常への治療薬としての適応が記載されています。最近ではスパゲティにも使われているようです。

この墨は、非常に多くの物質を含んでいます。その代表的なものは、次のようなものがあります。

- ・セピアメラニン：黒い色素で、ドーバキノンやチロシン、ドーバ誘導体が重合してできています。このセピアメラニン色素には、制菌作用があるといわれています。また、イカ墨中のムコ多糖-ペプチド複合体は、体内の免疫活性化作用があることがわかっています。
- ・各種ミネラル：マグネシウム、ナトリウム、クロール、銅、シリカほか、非常に多くのミネラルが含まれています。
- ・各種酵素：チロシナーゼなど
- ・タウリン、アミノ酸など

MATERIAL

コウイカの墨を結晶状に乾燥させたもの

FIRST PROVING

ハーネマンは、1828年にこのレメディのブルーピングを行いました（『Chronic diseases』初版）。このきっかけになったのは、ハーネマンの友人の画家が、絵筆についた墨インクを舐めることで、落ち込んだり、冷淡になったりすることからでした。

MIND

Sepia体質の人は、家では恋人や夫に対して機嫌が悪くイライラしているものの、外では愛想がよく、体型はスリムでわずかに男性的なところもある一見魅力的な外見です。健康状態が悪いと内向的になり、仲間と居るのを好みません。手足はいつも冷えています。顔面にやや黒ずんだ色素の濃い部分が見られることがあり、鼻もとに馬鞍状にあったり、眼の周囲に蝶の羽状にあったり、口の周りにあることがあります。

ダンスやエアロビクスなどの激しい運動を好みます。これはイライラした気分の発散と、運動によって骨盤内の血液循環が改善され、うっ血した血管系が改善されるからです。ただし、全体的にエネルギーがありません。長い時間立っていると失神しそうになります。

月経前はイライラして気むずかしくなります。活気がなく、批判的で、冷淡で、欲求不満から他人に当たり散らすことがあります。些細なことで衝動的に怒り出すこともあり、その後落ち込んでしまいます。この怒りは、エネルギーの欠如と未知の物事への恐怖感に起因する例が多くみられます。疲れて意気消沈した感じや下肢を組んで座るのは、骨盤周辺の弱い感覚からきています。

出産で疲れてしまい、自分の子供の育児も嫌います。ただそれは、肉体的疲労のほかに、子供たちに幸せを与えようと、懸命に努力しすぎた結果として、神経が疲れてしまうことから起こります。

神経衰弱性神経症の傾向があります。仕事も家事もやるエネルギーがなく、熱心に行いません。いつも物事を悪いほうに考える傾向があります。些細なことでも心配になり、動揺し感情的になります。1人で孤立すること、貧困、精神異常の状態を恐れます。酢やレモンなど酸っぱい物、甘い物、アルコールが好きです。牛乳や豚肉を嫌います。

Sepiaタイプの子供は、典型的なSepia像を示しません。快活で、愛情豊かな子供です。いろいろなものを怖がったり、過敏になる傾向が見られます。この時

期に、大きなストレスや悲しい出来事が起こると、だんだん内向的になってきます。身体的には、頭痛や皮膚病、月経に関する症状が出てきます。

AFFINITY

Sepiaは、ブルーピングで主に循環器系、中枢神経と神経内分泌系、結合組織系に作用することがわかっています。とくに、副腎皮質-性腺-脳下垂体系のホルモンバランスの乱れと血液循環のうっ滞が、諸症状の根底にあります。

■循環器系

- ・静脈うっ滞、とくに門脈系のうっ滞
- ・肝臓のうっ血
- ・これらのうっ血によって、食欲不振や朝の胸やけ、舌苔の発生などが起こってきます。
- ・レイノー病

■中枢神経と神経内分泌系

- ・無気力な状態：心気症、家族や愛する人、仕事などに無関心になります。冷淡になります。涙もろくなり、1人になりたくなります。低血圧の症状が出ます。
- ・活動的な状態：非常に活動的で体を激しく動かします。またイライラして短気になり、怒りや暴力的な行為に出ることもあります。

■結合組織系

- ・さまざまなタイプの皮膚病
- ・皮膚の色素異常
- ・粘膜のカタル性炎症
- ・内臓（とくに子宮、消化管、腎臓）の下垂
- ・胆嚢の活動低下や消化管の蠕動運動低下
- ・静脈瘤

CLINICAL APPLICATIONS

Sepiaは、主に女性に使うレメディとして、女性生殖器に強く作用します。

■泌尿生殖器系

- ・女性生殖器の感染症：白色の臭いの強い帯下を伴います。
- ・子宮脱：膣から子宮を含むすべてのものが、降りてきてしまう感覚になることがあります。そのため、よく足を組んで椅子に座ります。
- ・月経時の諸症状、月経前症候群
- ・思春期の症状：思春期以降ずっと調子が良くないということもあります。
- ・更年期障害
- ・骨盤内炎症性疾患
- ・真菌性陰炎

- ・妊娠時の諸症状：とくに妊娠前後の疲労や心身の不調に用いられます。
- ・不妊症，流産：流産は5～7か月の頃に起こりやすくなります。
- ・悪阻：悪阻の代表レメディの1つです。妊娠中のある時期には，Sepiaのステージになりやすくなります。
- ・性交疼痛症：外陰部が乾燥ぎみで，性交を嫌います。とくに出産後に顕著になります。Sepiaタイプは，愛する人を嫌うようになる傾向があります。
- ・再発性の尿路感染症
- ・尿失禁：ストレス性のものや圧迫性のものがあります。女性に多く，咳やくしゃみ，笑ったり，大きな音に驚くと失禁してしまいます。
- ・遺尿症：子供が眠り始めた頃に，尿が漏れてしまいます。排尿する夢で漏れることがあります。
- ・腫瘍，癌

■呼吸器系

- ・喘息，慢性気管支炎：緑がかった黄色い痰が出ます。咳が続くと，痰に血が混じることがあります。乾いた咳が出て，夜悪化します。夜寝るときに，呼吸困難になることもあります。咳によって疲労します。横になると辛く，座ると楽になります。

■消化器系

- ・胆嚢の運動障害：深い痛みが右の季肋部にあり，右下に横になると楽になります。痛みはとくに乗り物に乗っているときに感じます。
- ・便秘：消化管の蠕動運動の停滞によって起こります。通常，便意はありません。
- ・胃の空虚感：空腹感がありますが，食後も改善しません。甘い物や酸っぱい物が大好きで，パンも好みます。肉の脂身を嫌います。朝食前に気持ちが悪くなることがあります。直腸にボールがあるような感覚があります。
- ・直腸腫瘍
- ・痔：歩くと改善します。
- ・乳幼児下痢症：沸騰させた牛乳で，下痢をします。

■皮膚

- ・乾癬
- ・アトピー性皮膚炎：とくに口唇部，顎，関節の曲がる部位など
- ・真菌症，白癬
- ・肝斑：鼻から頬にかけて，とくに妊娠中に発現します。
- ・強皮症
- ・いぼ
- ・脱毛



(C)

- ・多毛
- ・白斑
- ・肛門掻痒症

■精神神経系：上記のSepiaタイプを参照してください。Sepiaのレメディ投与で根本的な性格構造を変えることはできませんが，明確に日々の精神状態や行動，反応にも改善がみられます。

- ・うつ病：わけもなく悲しくなり，泣いてしまいます。1人になりたくなりますが，孤独は嫌いです。
- ・無気力，強い疲労感：エネルギーがなくて何もやる気が起きません。すぐに疲労し，失神しそうになります。思春期，出産，授乳，ホルモンビル服用以来，ずっと調子が悪いという例も見られます。
- ・怒り：些細なことでも衝動的に，突然カッとなることがあります。とくに愛する人を嫌います。急に自分の子供に怒り出すことがあります。見境がつかないほど激情することがあり，後で落ち込みます。
- ・イライラした状態：音に過敏になります。寝ていても，音や音楽で眼が覚めてしまいます。
- ・片頭痛：左側の痛みで，とくに左眼の周辺部が痛みます。頭痛は，空腹時や更年期，生理前と生理中に悪化する傾向があります。通常，他のSepiaの症状と随伴して起こります。
- ・慢性疲労症候群：慢性疲労のほか，抗癌剤投与後の衰弱や吐き気にも使用されることがあります。犬の偽妊娠などにも使用します。

MODALITY

- ▶ 暖かくすること，温湿布，精力的な運動，ダンスやエアロビクスなど，下肢を組んで座ること，新鮮な空気，右下に寝ること，患部の圧迫，冷たい飲物，冷水浴など
- ◀ どんよりとした天気や嵐の前（しかし雷雨は好き），月経前，更年期，寒さ，湿気，雪の日，北風，家事，育児，授乳，下痢，性交，早朝と夕方，

午後2～5時、左側に横になることなど

RELATIONS

- Antidoted by : Aconite, Antimonium tartaricum, Rhus toxicodendron
- It Antidotes : Calcareo carbonica, China, Mer-

curius, Natrum muriaticum, Natrum phosphoricum, Phosphorus, Sarsapallira, Sulphur

- Complementary : Natrum muriaticum, Phosphorus, Nux vomica など
- Followed well by : Nitricum acidum
- Incompatible : Lachesis, Pulsatilla, Bryonia

Silica 二酸化珪素 SiO_2 [知的で繊細]

Silicon dioxide- SiO_2

BACK GROUND

二酸化珪素は、地球上で地殻を構成する岩石の中で、いちばん多く存在しています。



天然では珪砂または珪石として採掘され、その成分の石英として存在します。また、長石や蠟石の中にも珪素は含まれています。純粋な二酸化珪素が結晶化したものは、無色透明な六角柱状の鉱物である水晶です。水晶のクリスタルは、ギリシア語で水を意味する *krystallos* に由来します。生成時の圧力や温度、着色成分の混入、放射線の影響によって、紫水晶（アメジスト）、紅水晶（ローズクォーツ）、黄水晶（イエローシトリン）、煙水晶（スモーキークォーツ）などさまざまな形ができます。

水晶は古くからガラスや陶磁器、コンクリートなどの原料とされてきました。また、水晶に機械的力を加えて電気を発生する圧電効果現象と、水晶に電気信号を加えて機械的に振動させる圧電逆効果という性質により、正確な信号源としての利用や、光学製品として移動体通信、光通信機器、映像機器やコンピュータなど、デジタル機器に重要な電子部品として利用されて

います。いちばん身近なものでは、クォーツ時計に使われています。これは、水晶を薄膜にして電気刺激を与えると、非常に正確に振動するという性質を利用しています。さらに、半導体や太陽電池に用いられているシリコンの原料としても重要な鉱物です。

最近では、水晶の複屈折性や旋光性などの光学的物性を利用して、ビデオカメラや光ディスクに応用されています。複屈折性とは、水晶に光が入射するとき、2つの屈折光が現れる現象、また旋光性とは、水晶を通過する光の偏光面が回転する現象のことをいいます。水晶にはすべてを浄化し、清め、幸運を招く力があると伝承され、占いに使用されたり、数珠、建物の基礎に埋めたりと、さまざまな方法でその力が利用されてきました。

地球上の土の50％に、二酸化珪素が含まれていますので、当然植物や動物の組成に不可欠なものとなっています。人体の中では、歯や髪の毛、爪を初め、結合組織に多く含まれています。

MATERIAL

レメディは、ハーネマンの時代には水晶を原料とし、のちのホメオパスたちは火打ち石を使い、現在では、化学的に精製された二酸化珪素を原料としています。これらから得られた二酸化珪素を、乳糖と混ぜて粉碎したものを原料として使用します。

FIRST PROVING

ハーネマン（『Chronic diseases』, 1828）

MIND

Silica タイプは、やせ型で、上品で、ガラスのように繊細な場合が多く、また虚脱感や疲労感が強く、精